

「香川と静岡で登録開始 セーフティネット」

### 香川と静岡で登録開始

#### ビレッジハウスセーフティネット

賃貸物件の住宅セーフティネット登録を推進するビレッジハウス・マネジメント（東京都港区、共同最高経営責任者・岩元龍彦氏、工藤健亮氏）

はこのほど、香川県内と静岡県内の賃貸物件「ビレッジハウス」の住宅セーフティネット登録を開始した。

香川県内の登録は四国

地方で初めて。住宅セーフティネット制度は、高齢者や障がい者、子育て世帯、シングルマザー、生活保護受給者など住宅確保要配慮者に民間の空き家・空き室を活用して住まいを提供するもので、4月7日時点で全国

の登録数は2万9158戸となっている。このうち大阪府が1万1802戸、次いで東京都の2241戸、福岡県の1736戸と続いており、国土交通省は2020年度末までに17万5000戸の登録を目指している。

香川県の登録物件は、さぬき市と観音寺市の2物件・120戸となり、県内790戸の登録を予定。静岡県では、浜松市の2物件・233戸を今回登録し、順次県内6391戸の登録を目指す。